



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「あいさつがまんあとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校
令和5年度第5号
令和5年8月28日発行

「一学期もよろしくお願ひします」

校長

今年の夏も連日、高温で「身の危険を感じる」日々でした。地球温暖化から「地球沸騰」の時代に移ったとも言われています。そのような中で二学期が始まりました。始業式では暑い夏休みを過ごした生徒が、元気に笑顔を見せてくれました。その表情にホッと、心からうれしく思いました。

猛暑の中、生徒は夏休みも頑張りました。午前中は学習会と部活動です。数学が苦手な生徒や三年生で進路に向けて更に力をつけた生徒が、教室で意欲的に学習に取り組みました。学習会で理解が深まったり、苦手意識が少し減ったりして、今後、より前向きに学習する姿勢となつて表れることでしょう。部活動は、細心の熱中症対策をとりながら行いました。体調を崩しやすい高温のときは、各部とも活動を短めにして休憩や水分補給の時間を入れ、活動終了を早めるなど予防に努めました。「朝・昼・夕の食事をしっかりとること、十分な睡眠時間を確保すること、少しでも体調が悪いときは練習を休むこと」をご家庭にもお願いしました。そして事故や怪我もなく、安全で有意義な活動ができました。体育祭の準備活動では、パネル担当生徒が協力して創意工夫を重ねながら制作していました。団長はじめメンバーは、力強く魅力的な応援となるように動きや振り付けを考えていました。

七月三十日、荒川地区公民館で「まちづくり研究会」が開催されました。この催しは新しいまちづくり計画策定のための住民参加型ワークショップで、荒川中学校の生徒も参加させてもらいました。小学生から年配の方々まで六人程度でグループを作り「このまちの五年後の未来」にかける私たちの願ひを出し合いました。山川などの自然、花や田畑の産物、交通の利便性、人々の温かさなど、生徒は自分たちの地域を見つめ直し、地域の良さを確認しました。参加した生徒たちは、いろいろな年代の方の考えを聞いて自分の考えと比べたり、今までの生活を振り返ったりしていました。私たちの地域には、中学生の考えを上手く引き出し、まとめるためのヒントを示してくださる多くの「頼れる大人の方々」がいらっしゃるので、とてもありがたいと思います。

夏休み中はご多用の中、ご家庭からも生徒を元気に学校へ送り出してください、ありがとうございます。二学期は体育祭はじめ、学校行事をコロナ禍以前のように実施できるように努めて参ります。地域の皆様方からは、あらかわ大祭や各地区の祭礼などの場において、生徒が成長できる貴重な機会をいただきました。ここに感謝申し上げます。ありがとうございます。今学期も当校へのご支援をよろしくお願ひいたします。

